

東京都 スポーツ推進委員だより

第113号

(一社)東京都スポーツ推進委員協議会

2018年 1月31日

編集：情報委員会

ご挨拶



新年のごあいさつ



会長 新島 二三彦

明けましておめでとうございます。

スポーツ推進委員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

また、日頃から東京都スポーツ推進委員協議会の事業に対しまして、皆様の深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年は、私たち東京都のスポーツ推進委員にとって重要な事項がいくつかあります。

第1に、平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会「東京大会」が6月に本番を迎えることです。この研究大会は、その趣旨を「関東各都県スポーツ推進委員が一堂に集まり、当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上と相互の情報交換を図り、地域スポーツの発展に寄与すること」としており、関東1都8県のスポーツ推進委員の重要な研修の場となっているものです。

当協議会では東京大会に向けた準備のため、一昨年12月に「コア委員会」を設置し、また、昨年7月には「実行委員会」を設置して準備を進めてきています。

2月に開催される関東スポーツ推進委員協議会理事会において大会概要を承認していただき、実施に向けた取り組みを加速していきます。皆様には大会成功に向けた様々なお願いをしていくこととなりますので、

お力添えをいただけますようお願いいたします。

第2に、当協議会の役員改選期であることです。役員の任期は、当協議会の定款第26条に、「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時までとする」と規定されていることから、通常5月の社員総会で改選が行われます。今回は、その直後に新体制で前記の東京大会を開催・運営することになりますので、できる限り影響の少ない改選となることが望ましいと考えています。

第3に、平成30年度を開始年度とする「東京都スポーツ推進総合計画（仮称）」の策定・公表が今年度末に予定されていることです。スポーツ都市東京の実現に向けて、私たちスポーツ推進委員の役割が益々重要になっていくものと思われれます。その期待に添えていけるよう、当協議会も気持ちを新たにしていきたいと思います。

ご案内のとおり、今年は、平昌オリンピック・パラリンピック、2018 FIFAワールドカップなどのビッグイベントが開催される年であり、来年のラグビーワールドカップ2019日本大会、再来年の東京2020大会へと続く世界的なスポーツイヤーの開始年でもあります。当協議会もこの機を生かして都民のスポーツ実施率の向上に繋げていけるよう活動していきますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

社員総会



平成29年度 第2回社員総会

9月27日（水）午後6時30分から武蔵野公会堂2階会議室にて、第2回社員総会が開かれました。

東京都からオリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 佐藤祐樹様、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課課長代理 高橋佳瑞様、同じく 松下典子様にもご出席いただきました。

新島二三彦会長、佐藤祐樹様の挨拶の後、東京都ス



スポーツ推進委員協議会OB会の会長浅岡武様、副会長 深瀬茂夫様、事務局長平尾博恵様にお越しいただき、東京都スポーツ推進委員協議会へ寄付金の贈呈式が行われました。

贈呈式後、定足数の確認があり出席者42名、委任状提

出 10 名、総数 52 名となり当日の総会は成立いたしました。

(1) 報告事項

- 1) 理事会報告 (第 3 回 : 6 月 14 日)、(第 4 回 : 7 月 12 日)、(第 5 回 : 9 月 13 日)
- 2) 各委員会報告 (企画総務・研修・情報・女性)
- 3) 財務報告 (会費・賛助金他)
- 4) 全国連合定時総会について <6 月 6 日(火)>
- 5) 関東スポーツ推進委員理事会・女性委員会 <6 月 9 日(金)>
- 6) 関東スポーツ推進委員研究大会 (栃木県) <6 月 9 日(金)~10 日(土)>
- 7) 都スポ協会会長について <6 月 18 日(日)>
- 8) ニュースポーツ研修会について <6 月 25 日(土)>
- 9) 平成 29 年度臨時社員総会 <7 月 19 日(水)>
平成 30 年度関東スポーツ推進委員研究大会
東京大会第 1 回実行委員会
- 10) 平成 29 年度女性委員会企画研修 <7 月 22 日(土)>
- 11) 平成 30 年度広域地区別研修会事前説明会 <7 月 25 日(土)>
- 12) 平成 29 年度全国スポーツ推進委員 (功労者表彰、30 年勤続表彰、優良団体表彰者)
- 13) 平成 29 年度 広域地区別研修会報告

①	第 1 ブロック	7/15 (土)	新宿区
②	第 2 ブロック	9/9 (土)	台東区
③	第 3 ブロック	8/26 (土)	大田区
④	第 5 ブロック	9/2 (土)	江東区
⑤	第 6 ブロック	9/16 (土)	町田市
⑥	第 7 ブロック	9/2 (土)	青梅市
⑦	第 8 ブロック	9/16 (土)	国立市
⑧	第 9 ブロック	7/9 (日)	国分寺市
⑨	第 10 ブロック	9/16 (土)	小平市

- 14) 東京都初級障がい者スポーツ指導員養成講習会 <8/5、8/6、8/19、8/20、9/2>
- 15) 都スポ協 60 周年記念誌発刊に向けて

16) 東京マラソン 2018 ボランティアについて



- (2) 今後の事業について
 - 1) 実務研修会~ペップトーク<10 月 14 日(土)>
 - 2) 第 58 回全国スポーツ推進委員研究協議会茨城大会<11 月 9 日(木)・10 日(金)>
 - 3) 課題別研修会~ながら体操 <11 月 11 日(土)>
 - 4) 障がい者スポーツセミナー <12 月 9 日(土)>
 - 5) 地域スポーツ支援研修会
 - 区部 : 平成 30 年 1 月 27 日(土) 港区立男女平等参画センターホール『リーブラ』田町駅市町村部 : 平成 30 年 2 月 10 日(土) 武蔵野スイングホール 武蔵境駅
 - 全域 : 平成 30 年 2 月 17 日(土)・18 日(日) 深川スポーツセンター 門前仲町駅

(3) 協議事項

- 1) 平成 30 年度関東スポーツ推進委員研究大会 東京大会 <平成 30 年 6 月 8 日(金)~9 日(土)>
- 2) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018 <平成 30 年 2 月 2 日(金)>
生涯スポーツについてのアンケート協力について

今回も事業の報告や今後の事業予定、平成 30 年度関東スポーツ推進委員研究大会東京大会に関する協議事項など盛りだくさんの総会となりました。最後に岡田副会長の挨拶で各委員各地区の皆さんへのご協力をお願いし、第 2 回社員総会は終了となりました。

記事 情報委員会 松田 文子 (豊島区)
写真 情報委員会 仲 豊子 (台東区)

社員総会



平成 29 年度 第 3 回社員総会

12 月 13 日 (水) 午後 7 時から深川スポーツセンターで第 3 回社員総会が行われました。

新島二三彦会長の挨拶の後、東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部地域スポーツ振興担当課長 佐藤祐樹様からは、東京都スポーツ推進総合計画を今年度内に策定する予定であること、来年の

関東スポーツ推進研究大会への協力依頼のお話がありました。

定足数の確認では、出席 42 名、委任状 9 名、合計 51 名で正会員の過半数を満たしており、総会が成立しました。議長は定款に基づき新島会長が行いました。



<議事>

(1) 報告事項

- 1) 理事会報告
- 2) 各委員会（企画総務・研修・情報・女性）
- 3) 財務報告（会費・賛助金他）
- 4) 平成29年度広域地区別研修会報告
 - ①第4ブロック 9/30（土）杉並区
 - ②第11ブロック 11/24（金）三宅・御蔵島
- 5) 実務研修会 ペップトーク 10/14（土）
府中市生涯学習センター
- 6) 第58回全国スポーツ推進委員研究協議会
茨木大会 11/9（木）10（金）つくば市
- 7) 課題別研修会 ながら体操 11/11（土）
府中市生涯学習センター
- 8) 障害者スポーツセミナー 12/9（土）
武蔵野総合体育館
- 9) 都スポ協60周年記念誌発刊

10) 東京マラソン2018 ボランティアについて

11) その他 東京都障害者スポーツ指導者協議会設立30周年記念行事 12/9（土）

(2) 今後の事業について

1) 地域スポーツ支援研修会

区部：平成30年1月27日（土）港区立
男女平等参画センター『リーブラ』

市町村部：平成30年2月10日（土）

武蔵野スイングホール

全域：平成30年2月17日（土）・18日（日）

深川スポーツセンター

2) 宿泊研修 平成30年3月4日（日）5日（月）
熱海 望洋館

<協議事項>

1) 平成30年度関東スポーツ推進委員研究大会
東京大会 平成30年6月8日（金）9日（土）

2) その他 第72回全国レクリエーション大会
が来年高知県で開催されます。

記事 情報委員会 平野 秀夫（江戸川区）

写真 情報委員会 佐野 守（杉並区）

全国大会



第58回全国スポーツ推進委員研究協議会・表彰

11月9日（木）、10日（金）の両日、「ファンスポーツ！～すべての人にスポーツの楽しさを～」の大会テーマのもと、茨城県つくば市の「つくばカピオアリーナ」をメイン会場として、講演、シンポジウム、分科会など充実した内容で開催されました。



一日目は、歓迎アトラクション、開会式に続いて、表彰式が行われ都スポ協関係者も受賞なさいました。

基調講演は、「私の野球人生」と題し、地元茨城県の大洗町出身の大久保博元氏（プロ野球 前東北楽天ゴールデンイーグルス監督）が、ご自身の野球人生を通じて親交された多くの方々とのエピソードをユーモアたっぷりにご披露いただき、その経験に基づいた選手・指導者としての心得・留意点をお話しくださいました。

シンポジウムは、「スポーツの力で楽しい未来を創る」とのテーマで、コーディネーターの松尾哲矢氏（立

教大学 教授）の進行により、シンポジストとして、柳沢和雄氏（筑波大学体育系 教授）、金憲経氏（東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長）、及川力氏（筑波技術大学 名誉教授）、佐藤善人（東京学芸大学 准教授）をお迎えして、各専門分野からスポーツ推進委員の活動と絡めた見地を、お話しいただきました。



二日目は、四つの分科会に分かれて、各々のテーマについて事例発表と研究討論が熱心に行われました。

第1分科会

「誰もがいつでも楽しく～気軽に参加できるスポーツクラブで地域の活性化～」

コーディネーター 柳沢和雄氏（筑波大学体育系 教授）

発表① 前田孝一氏（静岡県・かわねライフスポーツクラブ 理事長）

発表② 藤井輝夫氏（群馬県・NPO 法人はるなスポーツクラブ 会長）

発表③ 土田宏氏（NPO 法人滑川ファミリースポーツクラブ チーフマネージャー）

第2分科会

「誰もがどこでも楽しく～スポーツの力で心身の健康の保持増進を～」

コーディネーター 金憲経氏(東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長)

発表① 野中歌子氏(秋田県スポーツ推進委員協議会顧問)

発表② 田中百合子氏(兵庫県・宝塚市スポーツ推進委員会 副会長)

発表③ 杉浦克己氏(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

第3分科会

「誰もが一緒に楽しく～ユニバーサルなスポーツの振興を目指して～」

コーディネーター 及川カ氏(筑波技術大学 名誉教授)

発表① 大江健一郎氏(広島県障がい者スポーツ指導者協議会 事務局長)

発表② 高野照代氏(茨城県・行方市スポーツ推進委員会 副会長)

発表③ 伊藤一志氏(山形県・尾花沢市スポーツ推進委員会 企画部長)

第4分科会

「誰もがいつまでも楽しく～子供のころからのスポーツ習慣確立に向けて～」

コーディネーター 佐藤善人氏(東京学芸大学 准教授)

発表① 浅田啓介氏(石川県・NPO 法人もんぜんスポーツクラブ クラブマネジャー)

発表② 杉山克秀氏(静岡県・NPO 法人F-SPO 理事長)

発表③ 吉川良子氏(千葉県・柏市スポーツ推進委員協議会 会長)

今大会はつくば市という首都圏から日帰り圏内ということもあり、参加者は全国から3,777名にも上り、一日目はメインアリーナには収容しきれないほどの盛況ぶりでした。同時に、東京都からも多くの参加者が集い、より盛大に開催されました。

スポーツの「楽しさ」を、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人々に体験してもらうために、スポーツ推進委員が今後も果たす役割の大きさを感じさせる研究内容でした。

記事 情報委員会 田辺 浩一郎 (渋谷区)

写真 情報委員会 才郷 正次 (東大和市)

〈受賞者の皆様〉

〈文部科学大臣表彰〉



大塚 雅一
(墨田区)



尾身 信晴
(葛飾区)



植田 浩敏
(千代田区)

〈スポーツ推進委員功労者表彰〉



羽住 敏久
(足立区)



飴本 公子
(品川区)



岡田 任弘
(墨田区)



奈良 和子
(新宿区)



渡辺 文子
(西東京市)

〈優良団体表彰〉

青梅市スポーツ推進委員協議会

〈30年勤続スポーツ推進委員表彰〉

植田 浩敏(千代田区) 近藤 幸雄(中央区) 石淵 龍雄(江東区) 塚田 茂春(江東区)

研修会



初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

8月5日(土)から9月2日(土)に開催された、初級障がい者スポーツ指導員養成講習会に参加しました。受講者は38名でした。

参加者をA日程・B日程に分け、それぞれ4日間の講習が国立市「くにたち市民総合体育館」を会場に開催されました。

1日目 開講式に続き『ボランティア論』『障がい者スポーツの意義と理念』『全国障害者スポーツ大会概要』の3単位

2日目 『障がいの理解とスポーツ』『知的障がい・肢体不自由①』『安全管理』の3単位

3日目 『障がいの理解とスポーツ』『視覚、聴覚障がい・肢体不自由②』『障がい者との交流』の3単位

4日目 『障がい者福祉施策と障がい者スポーツ』『障がいの理解とスポーツ』『(公財)日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ指導者制度』『レポート作成』の4単位初級講習会の基準カリキュラム18時間以上を受講し認定証を受け取る事が出来ました。



講習に先立ち、(一社)東京都スポーツ推進委員協議会新島二三彦会長から「パラリンピックの

成功なくしてオリンピックの成功なし。スポーツ基本計画に唱われているスポーツを通じた共生社会の実現を目指すと言文の中の共生社会とは何なのかを模索して欲しい」と挨拶がありました。

講習に入り、ボランティアという活動では一人一人の思いは違うが・自らの自由意思で・自らの判断で・自らの出来る範囲で行うという考え方が重要で、自らが積極的に関わり、喜んでくれる事に自分の喜びを感じると言う事を学びました。

また、実技を通して、いろいろな障がいを体験することにより、どのような手助けを必要としているかという事を実感することが出来、特に東京都摩障害者スポーツセンターの利用者の方々と



の交流により、障がいのある方々の声を聞き、今後の活動の参考になる事を多く学ばせて頂きました。

障がいとは特別なものではなく、老いもたらす困難など、程度の差はあれ、誰にでも起こりうる事で、その違いを越えて、生きやすい社会を作る事が、自身自身の豊かさになり、スポーツ推進委員としてこれまで築いてきたネットワークを通じて、次の人に橋渡しをするコーディネートをしていく役割を担っていることを改めて胸に刻み、今後の活動に役立てていきたいと思えます。

記事 岩田 圭子 (東大和市)

写真提供 (公社)東京都障害者スポーツ協会

研修会



実務研修会

10月14日(土)府中市生涯学習センターにおいて、平成29年度実務研修会が開催されました。講師に寺本強氏(日本ペップトーク普及協会 セミナー・講演認定講師)を迎えペップトークについて簡単な実技を伴う講習をしていただきました。



参加者は83名でした。

研修内容はペップトークについての説明として、選手、生徒、部下などを励ますのに監督やコーチなど指導者が試合前(本番前)に使う「激励のショートスピーチ」のことで、と事例を交え説明して頂きました。ペップトークは「短い」「分かりやすい」「肯定的な言葉を使う」「人をその気にさせる」言葉がけです。

大切なのは可能な限り肯定的な表現をすること。たとえば、事故しないように⇒安全運転で、廊下は走るな⇒ゆっくり歩こう。また、コミュニケーションの土台となる健全な人間関係を造り出し維持する過程が大切です。

もう一つは、3種類の承認を意識して相手に声かけをする。



1. Being (存在承認) 「生まれてきてくれてありがとう」「いてくれてありがとう」など存在を受け入れる。

2. Doing (行動承認) 「頑張ってるね」など現在進行形でやっている

ことなどを認める。

3. Having (結果承認)「頑張ったね」など結果について認めること。勝っても負けても、成功しても失敗してもそれは結果です。どんな結果も受け入れて次に向かう声かけをしましょう。また、自分に対して語りかける肯定的なセルフペップトークにより意識や心の在り方を変えることができる。

今回の講習では講師が話すだけでなく、講師の否定

的な言葉に対し参加者に肯定的な言葉に置き換えてもらったり、俳句調の例題を出し参加者にも俳句調でのペップトークを発表してもらうなど充実した講習会でした。

記事・写真 情報委員会 小久保 佳昭 (八王子市)

研修会



課題別研修会

11月11日(土)午後1時30分から、府中市生涯学習センターにおいて、日常ながら運動推進協会長野茂氏を講師に「日常ながら運動」の研修会が行われました。参加者は60名でした。



30代から40代の「働き盛り・子育て世代」は、スポーツ実施率が最も低い年代と言われます。

その解決策のひとつとして、「日常ながら運動」を提唱されている。

[椅子に座って、毎日できる運動]

- 例 ・椅子腹筋、上体後ろ倒し
- ・ひざ頭伸ばし、ひざ水平上げ運動
- ・立ち居、空気椅子運動。

[家事ながら運動で運動不足解消]

- 例 ・掃除機一歩踏み出し、ごみ拾いスクワット。

[全身運動でメタボ解消]

- 例 ・大股遠足歩き、階段上り下り、ひざ揺らし運動、その場巻き上げ歩き。

[頭すっきり健脳運動]

- 例 ・グー・チョキ・パー切り替え、膝のたたきと伸ばし(トントンスリスリ運動)・鼻つまみ



耳つまみ。

長野氏は、「体を動かすことがストレスになっては意味のないことである。また、ストレスある人は、体が動かないし、笑わない」との話。さらに「自分の好きな生活運動のなかで、できれば5種類位は朝・昼・晩の生活シーンに取り込むこと」を勧めている。あまたある体操のなかでも、「自販機のコイン投入の生活動作もスクワット」の指摘に、おおいにうなずきました。

記事・写真 情報委員会 島貴 金雄 (国分寺市)

研修会



東京都障害者スポーツセミナー

12月9日(土)午後1時30分から武蔵野市の「武蔵野総合体育館」会議室とサブアリーナで【東京都障害者スポーツセミナー】が開催されました。当初の定員を超えて60名ほどが参加しました。

初めに開講式があり東京都オリンピック・パラリンピック準備局新田見部長と東京都障害者スポーツ協会地域スポーツ振興課藤田課長より挨拶がありました。

当日は2部構成で講習会が行われ、1部の講義では「ポッチャを通じて広がる世界」～選手・関係者が語るポッチャの魅力とスポーツがもたらす効果～をテーマに東京ポッチャ協会副会長佐藤勝枝氏とパラリアン(ノーブルウイングス)の佐藤 駿氏からお話をいただきました。

佐藤さんご一家の障がいを持つ双子の兄弟出産から子育て自立に至るまでの話をいただきました。双子の兄弟共に脳性麻痺と判明し絶望の淵に立たされたこともあったが周りの仲間を支えられた事や、息子の駿さんが小学校3年の時出会ったポッチャがその後の一家

の将来に大きな影響をもたらした事などの話を聞きました。特に障がい者には健常者にはなかなか理解できないこわばりや体幹の維持などのお話が参考になった。

何より多くの人に助けてもらいまた多くの仲間がポッチャを通じて出来たことが大きな助けとなったとの事でした。

2部の講習では「障がいのある人が楽しめるスポーツの発見」をテーマに東京都障害者スポーツ協会地域スポーツ振興課大友氏に講義して頂きました。

初めに30分間の障がい者スポーツの種類や障がいの説明を講義して頂き、その後障がいを持つ人を対象に楽しめるスポーツを9グループに別れ5つの課題(卓球・テニス・バドミントン・バスケットボール・サッカー)の中で1つを選びグループワークで話し合い、そして障がいを持つ人対象に楽しめる方法・技術アップ・プログラムを考えて発表しました。

パラスポーツはこれがやりたいとの思いから各種目が始まっているので、スポーツ推進委員にも新種目を

考案する事が出来る可能性を持っているので障がい者のそれぞれのニーズに合わせた新しい障がい者スポー

ツに挑戦して欲しいと思います。

記事 情報委員会 関 隆男 (葛飾区)

各地区の情報



情報ひろば

【板橋区】

現在 62 名が委嘱され活動しており、総務部・広報部・事業部（ふるさといたばし体操普及委員会、ウォークラリー委員会、ドッジボール委員会、ハイキング委員会）で組織され、全員が部又は委員会に所属しています。

日頃行っている主な自主事業として、10月に「区民ハイキング」、区との共催事業として、毎年5月に「いたばしウォークラリー大会」、2月には「区民ドッジボール大会」を開催しており、多くの区民の皆様に参加して頂いています。



区民ドッジボール大会（小豆沢体育館）

平成 27 年からは、日頃活動を共にすることの多い板橋区青少年委員会との交流会を行いスポーツ交流試合や懇親会を行っています。

今年度からは板橋区が実施している高齢者スポーツ大学の講師としてポッチャを行い52名の参加者の皆様に楽しんで頂きました。板橋区ポッチャ交流会や板橋区障がい者スポーツ大会では運営のサポーターをしています。

我々が振り付けを考案したストレッチ運動の体操「ふるさといたばし体操」の普及活動をしております。座位バージョン「座ってエクササイズ」も完成し、普及用動画のリニューアルにむけて取り組んでいます。

これからも地域スポーツ振興のコーディネーター役として、努力していきます。

板橋区スポーツ推進委員協議会広報部部長 田中敏彦

【青梅市】

現在、青梅市のスポーツ推進委員は、市内各地区から選出された 25 名で青梅市スポーツ推進委員協議会を構成し活動しています。

4～5月は大会に向けてのキンボール教室、6月はキンボール交流大会、7～8月は各種講習会や研修会、9月は東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会『第7ブロック』や障がい者と家族のスポーツ大会、10月はスポーツレクリエーションフェスティバルや運動会、11月は西多摩地域広域行政圏スポーツフェスタやウォーキングフェスタ、12月は奥多摩深谷駅伝競走大会、1月は綱引き大会の練習、2月は親子ふれあい綱引き大会や青梅マラソン大会、3月は青梅マラソンコースと梅の里を歩く会等、一年を通してたくさんの主管事業や協力事業に参加しています。

この度、その功績が評価され、平成 29 年 11 月 9 日には茨城県つくば市で開催された第 58 回全国スポーツ推進委員研究協議会茨城大会表彰式にて全国優良

団体表彰を受賞することができました。



これからも市民の皆様がスポーツに親しみ、健康を維持していただけるよう楽しいイベントの企画をしたり、自分たちも楽しみながら色々なイベントに参加協力をしていきたいと思っています。

青梅市スポーツ推進委員協議会 塩野 初雄

【東久留米市】

東久留米市では、スポーツ推進委員 22 名で活動しています。

年間事業の中で特に力を入れて取り組んでいる「市民つなひき大会」は、今年度で第 14 回大会を迎え、未就学児からシニアまでの方々が毎年約 300 名近く参加し、幅広い世代が参加できるスポーツイベントとして東久留米市で定着しています。

また、障がい者のスポーツ参加促進を目的とした「知的障がい者向けフットサル教室」を東京都知的障



がい者サッカー連盟と協力して開発しています。その他に今年度から市内の旧跡等を巡る「ジョイフルファミリ

ーウォーキング」という既存事業を基に、さらにスポーツ性を重視した「フィットネスウォーキング」を企画開催しました。効果的に歩く技術を、100メートル1分(時速6キロ)で歩くことを通じて身につける実技では、スポーツ推進委員でもかなり急ぎ足で歩かなければならず、とてもいい運動になりました。事業の参加者からは、新しい発見ができたと好評をいただき、来年度もさらにブラッシュアップして実施していきます。

また、地域活動として支援学級の生徒や障がい者向けにユニカール大会を実施したり、市体育協会とも連携し、スポーツを広める活動を行っています。

東久留米市スポーツ推進委員 中島 憲蔵

【神津島村】

神津島村におけるスポーツ推進委員は、スポーツに関する指導・助言を目的に活動しています。

平成 29 年は、6 月～7 月開催の村民バレーボール大会、7 月には神津島カップ・サッカー大会、都内サッカーの大会遠征、村民野球大会、8 月のアクアスロン大会、9 月には元プロ野球選手を招聘し、少年野球教室を行い、10 月の村民大運動会は台風 21 号が直撃したため開催できませんでしたが、指導・助言等支援を行いました。12 月～3 月までは、オーシャンカップ・ソフトバレー大会及びバレーボール教室を実施し、今年から始めるジュリアサンセットマラソンや村民バレーボール大会、卓球大会、野球大会、サッカー大会遠征等の指導・助言等支援を行います。

また、柔道・剣道及びジュニアバレー、少年野球の普及にも努めております。

更に、平成 29 年 11 月にスポーツ振興くじ助成金から 16 百万円を利用し(総工費約 29 百万円)神津中学校校庭に夜間照明を 5 基、設置したので、積極的にサッカー、野球を行っていく予定です。



神津島村教育委員会 社会教育係 梅田 達義

#####

編集後記

皆様新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

平成 30 年の年が明け、関東スポーツ推進委員研究協議会東京大会の開催準備が目の前に迫ってきました。我々スポーツ推進委員として成功裏に終わるよう頑張っていきたいと思います。情報委員会では今年も東京都スポーツ推進委員だよりを担当していきます。皆様のご協力をお願いいたします。

編集 情報委員会 才郷 正次 (東大和市)

#####